

公益社団法人インテリア産業協会

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

1. 変化する環境への対応（事業全般）

協会の各種会議（理事会、委員会等）や、本部・支部主催の各種事業（講座、セミナー、勉強会等）は、ウェブを積極的に活用（状況により併用）して実施することで事業開催リスクを低減し、協会運営を的確に遂行しました。

2. インテリアコーディネーター（以下、IC）・キッチンスペシャリスト（以下、KS）有資格者等の能力向上・育成関係

新型コロナウイルス感染症を契機に激変した顧客ニーズに対応すべく、資格者等育成のための講座メニューを全面的に見直しました。講座事業の開催回数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画回数を大幅に下回ることになりました。

3. インテリア普及啓発関係

一般生活者を対象とした展示会や若年層を対象にした絵画コンテスト等は、新型コロナウイルス感染拡大対策を十分に講じた上で開催されました。また、開催地域の事業拡大に向けての活動も積極的に取り組みました。

4. 情報・広報活動

協会ウェブシステムに内在する脆弱性に対し、改修を施した上で脆弱性診断を受け、セキュリティ強化や安全性確保に努めました。

また、新たな情報発信方法として、公式インスタグラムの運用を開始しました。

II 個別事業（内閣府に認定を受けている事業ア～キ）

ア. IC等を目指す者への教育、情報提供

1. IC・KSハンドブックの書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対しての書籍頒布は、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」10刷版を印刷し、上巻2600冊、下巻2400冊を令和3年度の需要に対応すべく頒布に供しました。

2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指す者やインテリアについて学ぼうとする者に対して、次のとおり講座を実施しました。

① IC受験講座（総合／一次／実技）：のべ327人（前年度330人）が受講

② KS受験講座（総合／学科／実技）：のべ93人（前年度117人）が受講

イ. IC等の認定試験

1. IC資格認定試験

第39回IC資格認定試験は、昨年度に引き続き、内閣官房の指導により策定された「民間検定試験等の実施における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守して感染症拡大防止対策を行い、一次試験は23会場、二次試験では15会場で実施しました。

実施日、試験地域は次のとおりです。

①一次試験実施日 令和3年10月10日(日)

試験地域(試験会場数):北海道(2)、東北(3)、関東甲信越(4)、中部(2)、
関西(3)、中国(2)、四国(3)、九州(3)、沖縄(1)

②二次試験実施日 令和3年12月5日(日)

試験地域(試験会場数):北海道(1)、東北(2)、関東甲信越(4)、中部(2)、
関西(2)、中国(1)、四国(1)、九州(1)、沖縄(1)

合格者数等の結果は次のとおりです。

■令和3年度(第39回)一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

| 【一次試験】 | | 【二次試験】 | |
|--------|--------|-------------------------|-------------------------|
| 受験申込者数 | 11,171 | 二次受験対象者数 ^(注) | 4,682 (内:一次免除者1,657) |
| 受験者数 | 9,640 | 受験者数 | 3,951 |
| 一次合格者数 | 3,166 | 二次合格者数 | 2,334 |
| 一次合格率 | 32.8% | 二次合格率 | 59.1% |

注:二次受験対象者数(4,682)は、基本タイプ一次合格者数(3,025)+二次試験タイプ申込者数(1,657)

■合格者の推移

| 実施年度 [実施回] | 資格取得対象 受験者数 ^(注) | 合格者数 (二次合格者数) | 合格率 |
|---------------|-------------------------------|------------------|-------|
| 令和3年度 [第39回] | 9,935 | 2,334 | 23.5% |
| 令和2年度 [第38回] | 8,468 | 2,045 | 24.1% |
| 令和元年度 [第37回] | 7,561 | 1,896 | 25.1% |
| 平成30年度 [第36回] | 8,966 | 2,135 | 23.8% |
| 平成29年度 [第35回] | 8,569 | 1,931 | 22.5% |

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

2. K S 資格認定試験

第 34 回 K S 資格認定試験を、次のとおり全国 13 会場で実施しました。

- ・試験実施日 令和 3 年 12 月 5 日（日）（I C 二次試験と同日）
- 試験地域（試験会場数）：北海道（1）、東北（2）、関東甲信越（3）、中部（2）、関西（1）、中国（1）、四国（1）、九州（1）、沖縄（1）

合格者数等の結果は次のとおりです。

■合格者の推移

| 実施年度 [実施回] | 申込者数 | | | 資格取得対象 受験者数 ^(注) | 合格者数 | 合格率 |
|-------------------|------|-------|-------|-------------------------------|------|-------|
| | 総合 | 学科/実技 | 総数 | | | |
| 令和 3 年度 [第 34 回] | 547 | 235 | 782 | 608 | 197 | 32.4% |
| 令和 2 年度 [第 33 回] | 554 | 250 | 804 | 614 | 175 | 28.5% |
| 令和元年度 [第 32 回] | 571 | 291 | 862 | 703 | 222 | 31.6% |
| 平成 30 年度 [第 31 回] | 632 | 346 | 978 | 786 | 288 | 36.6% |
| 平成 29 年度 [第 30 回] | 939 | 362 | 1,301 | 1,050 | 397 | 37.8% |

注：学科及び実技の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数（総合タイプの申込者のうち、実技および学科の両方を欠席した者を除く。）

ウ. I C 等の登録

1. 資格登録

令和 3 年度は、I C 資格認定試験合格者 2,334 人の内 2,327 人、K S 資格認定試験合格者 197 人の内 197 人の資格登録申請を受け付け、資格証（初回登録年月日 2022 年 4 月 1 日付）を交付しました。

2. 登録更新

令和 3 年度 I C ・ K S 資格登録更新は、対象者約 16,500 人に対し 1 月 25 日を申請期日として申請受付を実施しました。期間内に手続きが完了した者には、有効期限を延長した資格証（カード）を令和 4 年 3 月 17 日に簡易書留で一斉発送しました。

年度末における登録資格者（有効資格者）数は次のとおりです。

- ・ I C 資格登録者数： 59,077 人
- ・ K S 資格登録者数： 8,186 人

3. I C ・ K S 読本

『I C ・ K S 読本 2022』は、法改正内容を中心に内容の最新化を行うとともに、新型コロナウイルス感染症によるインテリアメーカー各社の抗ウイルス・抗菌製品の動向を記事にし、新規登録者および更新対象者全員に提供しました。

エ. IC等の能力向上のための講座等の開催

一般生活者並びにIC及びKSの有資格者を対象に、インテリア等に関する基礎知識の習得、ICやKSの職業人としての能力向上を目指した研修事業として、全国各地で講座、セミナーを39件開催しました。ウェブサイトを利用した講座を推進しましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け一部を除いて対面での講座開催は中止だったため、計画していた実施回数を確保することが出来ませんでした。

各支部での実施状況は次のとおりです。

①東北支部（1件）

◇「ミラノサローネ国際家具見本市2021インテリア最新トレンド」

②関東甲信越支部（7件）

◇「サステナブルな伝統工芸～越前和紙の魅力と可能性について～」など

③中部支部（4件）

◇「三重県立伊賀白濱高校出前授業」など

④関西支部（4件）

◇「水回り住宅設備機器の選び方」など

⑤中国支部（10件）

◇「広島県立宮島工業高等学校出前授業」など

⑥四国支部（7件）

◇「整理収納～心地よく暮らすための頑張らない片付け～」など

⑦九州支部（5件）

◇LET'Sインテリア「ケーキの箱のお部屋づくり」など

⑧沖縄支部（1件）

◇インテリア実務講座「ペットと暮らす住宅のデザイン」

オ. IC等が実施する調査・研究に対する支援

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアに関してテーマ公募を行い、次のとおり3件の調査・研究に対して活動資金を助成しました。

①応募テーマ数 4件（キッチン関係：1件、インテリア関係：3件）

②採択テーマ数 3件（インテリア関係：3件）

③採択テーマ名

◇「これからの素敵な暮らしの実現に向けた意識調査・研究」（デザインカンファレンス研究会）

◇「インテリアを変えることで人は変わる～学生の部屋を分析し、多世代と比較することでこれからのインテリアのスタンダードを考える～」（快適暮らし研究会）

◇「保育所等における小空間に関する調査・研究」（保育所インテリア研究会）

カ. IC等を目指す者及びIC等の能力向上のためのコンテストの開催

IC・KS資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な次のコンテストを継続実施しました。優秀作品については、昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

【一般部門】

令和3年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。

①募集期間 令和3年9月10日～10月15日

②募集内容

◇事例分野 新築部門、リフォーム部門、スタイリング部門（居室や部分的なシーン）でインテリア事例（提案）を募集。

◇課題分野 課題に基づいたコーディネート提案を募集。（B部門は施工事例も可）

A部門：「新しい生活様式とリビングのインテリア」

B部門：「IoTとインテリア」

③応募総数 179作品（新築部門15、リフォーム部門23、スタイリング部門19、A部門95、B部門27）

④審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、協会会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞5作品、特別審査員3作品（合計17作品）

■ [事例分野] 入賞一覧

| 賞名 | 応募部門 | タイトル | 受賞者 (代表者) | 勤務先・学校名 | 都道府県 |
|---------|--------|-----------------|--------------|------------------------------|------|
| 経済産業大臣賞 | 新築 | 6つの庭がある家 | 川西敦史 | 川西敦史建築設計事務所 | 兵庫県 |
| 協会会長賞 | リフォーム | 型式認定住宅のリノベーション | 島綾子 | 416アーキテクト | 大阪府 |
| 部門最優秀賞 | 新築 | ワークライフバランスを愉しむ家 | 田口裕二 | TAG設計室 | 京都府 |
| | リフォーム | 風景を加工する家 | 重松英幸 | フリーランス | 東京都 |
| | スタイリング | モダニズムアートと暮らす | 幕内貞幸 | 株式会社OKUTA LOHAS studio | 東京都 |
| 部門優秀賞 | 新築 | 奥行と陰影がつくる多様な居場所 | 鈴木崇真 | 鈴木崇真建築設計事務所 | 愛知県 |
| | リフォーム | 1つの空間で立体的に暮らす | 矢田朝士 | ATELIER-ASH | 京都府 |
| | スタイリング | 30年振りに時を愉しむ世界へ | 寺田由実 | Design interieur Terada Yumi | 東京都 |
| 特別審査員賞 | スタイリング | マチュアな大人のインテリア | 安藤真代 | studio Ma | 大阪府 |

■ [課題分野] 入賞一覧

| 賞名 | 応募部門 | タイトル | 受賞者 (代表者) | 勤務先・学校名 | 都道府県 |
|---------|------|---------------|--------------|------------------|------|
| 製造産業局長賞 | A | No Border | 出山裕美 | スペースデザインカレッジ 東京校 | 千葉県 |
| 協会会長賞 | A | RE:ver living | 小田葉里 | スペースデザインカレッジ 大阪校 | 大阪府 |
| 部門最優秀賞 | A | 色と光のアンビエンス | 藤代舞 | 東京電機大学 大学院 | 神奈川県 |
| | B | merihari | 菅原茶美 | 千葉工業大学 | 東京都 |
| 部門優秀賞 | A | おうちじかん | 中野菜穂子 | アコールプラス一級建築士事務所 | 東京都 |
| | B | EnrichFlower | 松土佳樹 | スペースデザインカレッジ 東京校 | 東京都 |
| 特別審査員賞 | A | 共生の器 | 原口拓也 | 神戸大学大学院 | 兵庫県 |
| | B | めぐるクローゼット | 谷中萌 | スペースデザインカレッジ 東京校 | 東京都 |

【高校生部門】

- ①募集期間 令和3年7月5日～7月26日
- ②募集内容 テーマを「新しい生活様式のリビング空間」とし、課題に基づいたインテリア空間のコーディネート提案を募集。
- ③応募総数 100 作品
- ④審査結果 協会会長賞1作品、部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞6作品(合計10作品)

■ [高校生部門] 入賞一覧

| 賞名 | タイトル | 受賞者 | 高等学校 | 学年 |
|--------|------------------|-------|--------------|----|
| 協会会長賞 | 布に包まれる | 北原歩依 | 静岡県立浜松工業高等学校 | 3年 |
| 高校生部門賞 | つながり | 永井心美 | 名古屋市立工芸高等学校 | 3年 |
| 優秀賞 | Live with water | 齊藤瑚旺 | 愛知県立半田工科高等学校 | 3年 |
| | 海の上から下まで | 上村日菜 | 大阪市立都島工業高等学校 | 3年 |
| 奨励賞 | 団樂の輪 | 神田遼平 | 静岡県立浜松工業高等学校 | 3年 |
| | わたしのゆ | 児玉楓 | 名古屋市立工芸高等学校 | 3年 |
| | Livestock Living | 磯貝歩美 | 名古屋市立工芸高等学校 | 3年 |
| | Dream Beautiful | 井元さくら | 岡山県立高梁城南高等学校 | 2年 |
| | SUMMER MEMORIES | 池田萌香 | 岡山県立高梁城南高等学校 | 2年 |
| | Tree House | 岩本龍生 | 大阪市立都島工業高等学校 | 3年 |

2. 知ろう、学ぼうアイデアコンテスト

- ①募集期間 令和4年1月12日～2月18日
- ②募集内容 テーマ『SDGs とインテリア』に沿った、SDGs の達成に役立つ家具、空間デザイン、インテリアグッズなどのアイデア（イラスト、絵画、デザイン）を募集。
- ③応募総数 94 作品（小学生 22、中学生 9、高校生 63）
- ④審査結果 最優秀企画賞1作品、優秀企画賞3作品、特別賞2作品（合計6作品）

■ [知ろう、学ぼうアイデアコンテスト2022] 入賞一覧

| 賞名 | 部門 | タイトル | 受賞者 | 学年 |
|--------|-----|---------------|-------|----|
| 最優秀企画賞 | 高校生 | サステナブルなラグ | 江島奈々 | 2年 |
| 優秀企画賞 | 小学生 | SDGs ホーム | 甲斐美衣 | 5年 |
| | 中学生 | Tree&Plastic | 福岡さくら | 3年 |
| | 高校生 | ソーラーパネル付き観葉植物 | 池邊花奈子 | 2年 |
| 特別賞 | 高校生 | アンドセル | 尾崎花歩 | 1年 |

3. キッチン空間アイデアコンテスト

- ①募集期間 令和3年8月1日～9月30日
- ②募集内容 テーマ「こんな人に、こんなキッチン伝えたい」
Aテーマ部門「団らん・優しいキッチン空間」
Bテーマ部門「暮らしが変わるキッチン空間」（実際に施工したもの。新築物件も可）
- ③応募総数 148 作品（A テーマ部門 122、B テーマ部門 26）
- ④審査結果 協会会長賞1作品、部門最優秀賞2作品、部門優秀賞5作品、奨励賞15作品（合計23作品）

■ [キッチン空間アイデアコンテスト] 入賞一覧

| 賞名 | 部門 | タイトル | 受賞者 (代表者) | 勤務先・学校名 | 都道府県 |
|-------|----|-------------------|--------------|--------------------------|------|
| 協会会長賞 | B | 小さい家の大きなキッチン | 小滝健司 | TOASt 一級建築士事務所 | 東京都 |
| 最優秀賞 | A | 食品ロス削減×ふれあいキッチン | 大嶋恭子 | 茨城大学 | 茨城県 |
| | B | 緑の中で料理する…そして食す | 石上芳弘 | YIA イシウエヨシヒロ建築設計事務所 | 大阪府 |
| 優秀賞 | A | アンチエイジング・キッチン | 長村真希 | スペースデザインカレッジ東京校 | 東京都 |
| | A | とれいんキッチン | 篠部有花 | スペースデザインカレッジ大阪校 | 兵庫県 |
| | A | 発酵&グラノーラ Kitchen | 本郷真理子 | スペースデザインカレッジ大阪校 | 兵庫県 |
| | A | みんなの駅キッチン | 藤田彩那 | 茨城大学 | 茨城県 |
| | B | Aimon/エモン | 山本ちなつ | Atelier G.R.J. | 京都府 |
| | A | めぐるキッチン | 浜口理恵 | スペースデザインカレッジ東京校 | 東京都 |
| 奨励賞 | A | Cooking Tour | 志村恵美 | スペースデザインカレッジ東京校 | 神奈川県 |
| | A | Tasty Stage | 小田貴彦 | 株式会社高橋茂弥建築設計事務所・北嶋工業株式会社 | 静岡県 |
| | A | キッチンは友達 | 久保結菜 | 浜松日建工科専門学校 | 静岡県 |
| | A | 右使い 左使い | 山本実穂 | 椋山女学園大学 | 愛知県 |
| | A | 避難所 TOMMOROW キッチン | 二之湯真理子 | スペースデザインカレッジ京都校 | 京都府 |
| | A | Connect kitchen | 奥平菜摘 | スペースデザインカレッジ大阪校 | 大阪府 |
| | A | Kajihave (カジハブ) | 原田彩花 | スペースデザインカレッジ大阪校 | 大阪府 |
| | A | キッチンから始まる団らん母屋 | 宮沢雅美 | スペースデザインカレッジ大阪校 | 大阪府 |
| | A | 空きコマクッキング | 山本有里菜 | 京都府立大学 | 大阪府 |
| | A | 炎・円・縁～えんが紡ぐえん～ | 大石慎太郎 | 神戸大学大学院 | 兵庫県 |
| | B | 山を眺め、光を呼び込むキッチン | 安藤祐介 | 安藤祐介建築空間研究所 | 東京都 |
| | B | 探求する場所 | 佐々木達郎 | 株式会社佐々木達郎建築設計事務所 | 東京都 |
| | B | 庭と暮らす食卓 | 東郷由紀 | 株式会社 OKUTA LOHAS studio | 東京都 |
| | B | 夫婦の絆を紡ぐキッチン | 平野永子 | HRN アーキテクト | 大阪府 |

キ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

1. 絵画コンテスト

将来の日本を担う子供やその家族たちに、生活の中にインテリアを取り入れる楽しさを知ってもらい、併せてICの職能を理解してもらうことによってインテリアに関する普及を図るため、小学生を応募対象とした絵画コンテスト（「こんな部屋いいな」）を、3支部（東北、九州、沖縄）で実施しました。

①第19回こんな部屋いいな絵画コンテスト（東北支部／宮城県）応募総数2,115作品

| 受賞名 | 受賞者 | 学校名 | 学年 |
|----------------------|-------|-------------|----|
| こんな部屋いいな絵画コンテスト大賞 | 宮内利佳子 | 仙台市立南小泉小学校 | 3年 |
| 宮城県知事賞 | 越前ありさ | 大郷町立大郷小学校 | 5年 |
| 仙台市長賞 | 山口賢吉 | 仙台市立荒井小学校 | 6年 |
| 宮城県教育委員会教育長賞 | 服部桃子 | 多賀城市立城南小学校 | 6年 |
| 仙台市教育委員会教育長賞 | 藤本翼 | 仙台市立六郷小学校 | 2年 |
| インテリア産業協会会長賞 | 長澤未来 | 仙台市立東四郎丸小学校 | 4年 |
| インテリア産業協会東北支部支部長賞 | 伊藤真凛 | 気仙沼市立唐桑小学校 | 2年 |
| インテリア産業協会東北支部支部長賞 | 鈴木那幸 | 仙台市立上野山小学校 | 6年 |
| 宮城インテリアコーディネーター協会会長賞 | 四戸咲希 | 仙台市立八幡小学校 | 6年 |
| 宮城インテリアコーディネーター協会会長賞 | 山口ゆい | 宮城教育大学附属小学校 | 2年 |

②第9回こんな部屋いいな絵画コンテスト（九州支部／鹿児島県）応募総数 2,605 作品

| 受賞名 | 受賞者 | 学校名 | 学年 |
|------------------------|------|-------------|----|
| こんな部屋いいな賞 | 永山煌 | 鹿児島市立広木小学校 | 6年 |
| インテリア産業協会九州支部長賞 | 碓楓 | 鹿児島市立東谷山小学校 | 6年 |
| 鹿児島県インテリアコーディネーター協会会長賞 | 藤崎絵麻 | 鹿児島市立中山小学校 | 6年 |

③あったらいいな、こんな家第6回こども絵画コンクール（沖縄支部／沖縄県）応募総数 808 作品

| 受賞名 | 受賞者 | 学校名 | 学年 |
|------------|-------|-------------|----|
| 最優秀賞 | 兼本沙夏 | 久米島町立久米島小学校 | 2年 |
| 優秀賞 | 伊佐芽生子 | 沖縄市立美東小学校 | 1年 |
| 優秀賞 | 嵩田ふみ | 西原町立西原南小学校 | 2年 |
| 優秀賞 | 屋嘉比康虎 | 本部町立瀬底小学校 | 3年 |
| 優秀賞 | 屋嘉比佐和 | 本部町立瀬底小学校 | 6年 |
| タイムス住宅新聞社賞 | 長嶺満穂 | うるま市立兼原小学校 | 4年 |
| インテリア産業協会賞 | 吉濱日彩 | 浦添市立前田小学校 | 4年 |

2. 展示会等の催し

一般生活者を対象に、次の展示等の催しを本部において開催・出展しました。

①「JAPANTEX2021」ONLINE

会 期：令和3年10月20日～12月31日

出展内容：インテリアコーディネーターと窓装飾プランナーのW資格者によるインテリアの提案を動画で紹介した。（NIFとの共同企画）

②「新しい生活様式のリビング空間」展示

開催場所：新宿パークタワー

会 期：令和3年10月28日～11月6日

展示内容：高校生による「新しい生活様式のリビング空間」提案をパネル展示しました。

（住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門の受賞作品展示）

③「新しい生活様式とインテリア」展示

開催場所：二子玉川葛屋家電

会 期：令和3年11月9日～22日

展示内容：インテリア関連企業の新しい生活様式に対する取り組みや感染対策アイテムをパネルや実展示により紹介しました。

④「エコプロ2021」

開催場所：東京ビッグサイト 東ホール

会 期：令和3年12月8日～10日

小 間 数：9小間

展示内容：上記②、③の展示物に加え、「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門」で協会会長賞を受賞した作品の実物化展示を行いました。

3. 学校への教材頒布

令和3年度のインテリア普及啓発事業として、全国の中学校・高等学校への副読本の無償頒布が完了しました。

①中学校家庭科副教材『快適な住空間をつくるインテリアの世界』

頒布を希望した中学校のうち先着 1,108 校、配布部数：162,131 部

②高等学校家庭科副教材『考えてみよう！住空間を彩るインテリア』

頒布を希望した高等学校のうち先着 372 校、配布部数：54,902 部

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。具体的には次のとおりです。

(1) 運営委員会

本委員会では、次年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、一般生活者や会員企業に向けた新しい情報発信方法を中心に検討しました。一般生活者に対するInstagramを通じた情報発信や、会員企業に対するメールでの情報発信について検討しました。

(3) IC資格制度検討委員会

本委員会では、資格制度や資格者の能力の維持・向上のため配布する「IC・KS読本」の内容等を検討しました。

(4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針の立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

(5) KS資格普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「キッチン空間アイデアコンテスト」の方針の立案や、KS資格試験の受験者増加に向けた改善策などについて検討しました。

2. 会員活動

(1) 協会への入会促進活動

協会ウェブサイト等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。年度末時点の会員数は次のとおりです。

◇年度末会員数：正会員数は140（前年度150）賛助会員は17（前年度18）

(2) 「会報」の定期的な発行

会報の年4回の定期的発行を行い、主に会員に協会の事業活動をタイムリーかつ的確に情報提供しました。

3. 広報活動

Instagramを通じた新しい情報発信に取り組みました。協会ウェブサイトにおいては、システム全般のセキュリティ強化を図りました。

4. その他

協会の各種広報活動や普及啓発事業等を通じ、IC・KS資格の有益性を継続的に発信することで資格試験申込、登録・更新に寄与しました。

以上